

オーケストラ・アンサンブル金沢

広上淳一がおくるベートーヴェンの名曲

「田園」

交響曲第6番

「皇帝」

ピアノ協奏曲第5番



【PROGRAM】

ベートーヴェン:交響曲 第6番 へ長調 作品68「田園」 ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 作品73「皇帝」

【出演】 広上淳一(指揮) / トム・ボロー(ピアノ) / オーケストラ・アンサンブル金沢(管弦楽)

2025 **9/21** (日) 14:00開演 (13:30開場)
サラマンカホール 岐阜市藪田南5-44-53



【全席指定】S席 5,500円 A席 4,500円

[メイト:S席4,950円 A席4,050円] 学生半額(30歳まで)

※未就学児の入場はご遠慮ください。※車椅子席は、サラマンカホールチケットセンターのみの取り扱いです。

主催:岐阜県、(公財)石川県音楽文化振興事業団 共催:サラマンカホール

助成:  文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
| 独立行政法人日本芸術文化振興会

サラマンカメイト先行発売:2025年6月9日(月) 一般発売:2025年6月16日(月) ※ 先行・一般共に発売初日は、電話・インターネット 9:00~ / 窓口 12:00~

チケットのお求め
サラマンカホール チケットセンター

058-277-1110

[9:00~
21:30]

チケットのネット予約は公式サイト
「サラマンカ・オンラインチケット」で



チケットぴあ t.pia.jp Pコード:293-298
イープラス eplus.jp / ファミリーマート



Junichi Hirokami × Tom Borrow

広上 淳一
Conductor

トム・ボロー
Piano



東京生まれ。尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。1984年、26歳で「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放送響、コンサートヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィルのポストを歴任、このうちノールショピング響とは94年来日公演を実現、さらに米国ではコロバス響音楽監督を務めヨーヨー・マ、五嶋みどりをはじめ素晴らしいソリストたちとともに数々の名演を残した。2008年4月より京都市交響楽団常任指揮者を経て2014年4月より常任指揮者兼ミュージック・アドバイザー、常任指揮者として13シーズン目の2020年4月より2022年3月まで京都市交響楽団第13代常任指揮者兼芸術顧問を務めた。2015年には同団とともにサントリー音楽賞を受賞。令和6年能登半島地震後、オーケストラ・アンサンブル金沢メンバーと共に、避難所・病院・小学校・交流施設・道の駅など、被災者の日常に音楽を届ける活動を展開。そうした活動が、地域に根ざして育まれてきた文化が実質的に芸術家と市民が双方向で支えあふ円環を形成、今後の芸術文化活動の展開に多くの示唆を与えるものになっていると評価され、令和6年度芸術選奨文部科学大臣賞を受賞した。現在はオーケストラ・アンサンブル金沢アーティストック・リーダー、日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団 広上淳一。また、東京音楽大学指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。2025年よりマレーシア・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督に就任。

2000年テルアビブ出身。現在、テルアビブ大学ブッフマン・メータ音楽校でトーマー・レフ氏に師事。また、エルサレム音楽センターのプログラムを通じて、マレイ・ペライアから定期的に指導を受ける。イスラエル国内のすべてのピアノ・コンクールで優勝。2019年1月、急遽カティア・ブニアティシュヴィリとの代役として登場したイスラエル・フィルとの共演はセンセーションを巻き起す。同年インターナショナル・ピアノ・マガジン誌およびグラモフォン誌より「注目すべき人物」として賞賛を受けたほか、2021-23 BBCニュー・ジェネレーション・アーティストに選出される。クリーヴランド管、ボルティモア響、アトランタ響、ロンドン・フィルなど世界中の主要なオーケストラから招待されており、ピシコフ、ルイーシ、オラモ、エメリヤニチェフなどの一流の指揮者と共演している。室内楽やリサイタルでの活動も多く、ヴェルビエ音楽祭、ウィグモアホール、アムステルダム・コンサートヘボウ、ベルリン・コンツェルトハウスなどに出演している。2024年サンパウロ響のアーティスト・イン・レジデンスを務める。

オーケストラ・アンサンブル金沢 Orchestra Ensemble Kanazawa [管弦楽]



1988年、岩城宏之が創設音楽監督(永久名誉音楽監督)を務め、多くの外国人を含む40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。石川県立音楽堂を本拠地とし、北陸、東京、大阪、名古屋での定期公演、海外公演など年間約100公演を行う。シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノフェスティバルなど、音楽祭からの招聘を含む20度の海外公演を実施。設立時よりコンポーザー・イン・レジデンス(現コンポーザー・オブ・ザ・イヤー)制を実施。多くの委嘱作品を初演、CD化している。ジュニアの指導、邦楽との共同制作など育成・普及活動にも積極的に取り組んでいる。ドイツ・グラモフォン、ワーナーミュージック・ジャパン、エイベックス・クラシックスなどメジャーレーベルより90枚を超えるCDを発売。07年より18年3月まで、井上道義が音楽監督を務め、18年9月より22年3月までマルク・ミンコフスキが芸術監督を務めた。22年9月より広上淳一がアーティストック・リーダーに就任した。公式ホームページ <https://www.oek.jp/>

オトナ回課外授業 2025 [シリーズ4] 「種を蒔く」～愛されるオーケストラであり続ける

1988年、岩城宏之の強いリーダーシップのもと、日本初の常設室内管弦楽団(オーケストラ・アンサンブル金沢(OEK))が誕生。2022年9月にOEKのアーティストック・リーダーに就任した広上淳一氏は、終演後に自らコーヒーを振る舞う「Junichi Café」や楽団員と共に金沢百番街内カフェでのミニコンサートに出演するなど、地域に密着した活動を展開。まさに「リーダーとしてオーケストラを牽引しています」「楽団はその町その地方その国の平和の象徴」と語るマスターがOEKと共に目指す「オーケストラ」の姿とは…。

日時/7月13日(日) 17:00~18:30(16:45受付)
講師/広上 淳一
(指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢アーティストック・リーダー)
会場/サラマンカホール
定員/100名 料金/1,000円



サラマンカメイトのご案内

特典

- チケットの先行販売
- チケットの割引(1公演2枚まで)
- ダイレクトメールによるコンサートのご案内
- グッズコーナーでの割引

※お電話(058-277-1110 入会申込書を郵送)およびインターネットでも受付しております。
※年会費2,000円
※入会申込書は、サラマンカホール チケットセンターにご用意しています。
※年会費の口座振替もご利用ください。

交通アクセス・駐車場

公共交通機関

- JR岐阜駅(北口)より「岐阜バス」で約20分
- 名鉄岐阜駅より「岐阜バス」で約25分
- JR西岐阜駅(南口)より「西ぎふ・くるくるバス」で約12分
- JR東海道本線・名古屋駅から西岐阜駅まで約23分

自動車

- JR西岐阜駅から車で約5分(南口タクシー乗り場より約2km)
- JR東海道新幹線・岐阜羽島駅および名神高速道路・岐阜羽島ICより車で約20分 ● 無料駐車場完備

終演後に西岐阜駅まで無料マイクロバスを運行します 正面玄関前(北側)から出発します。

客席のご案内

全席指定